

夢 塾 だ よ り

～ 読谷中学校 70 周年記念式 ～ (第 20 号)

平成 31 年 2 月 22 日



母校読谷中学校の 70 周年記念式で『読中生は沖縄の輝く星だ』の演題で講話をする機会を与えていただきました。800 名の生徒が熱心に私の話を聞いてくれ、講話後の質問タイムでは何人の手が上がったか分からないくらい盛り上がりを見せ、もう少し時間があればと思うほどでした。「先生は何歳ですか？」

「・・・ウーン・・・36 歳で

す。逆から」・・・「どうしたらギターがうまくなりますか?」「聞かせたい彼女を思い浮かべて、毎日生懸命練習することです」・・・たわいのない質問でしたが会場は沸きました。

読中の最近の活躍はめざましく、運動系では、中頭地区陸上総合優勝 3 連覇、中頭地区中体連最優秀学校賞。文化系では、中頭地区意見発表大会で又吉南緒さんが最優秀賞、読谷村少年の主張大会では兼謝名彩音さんが最優秀賞など、いずれも中頭ではダントツの成績です。学校を取り巻く環境も大変素晴らしく、新築された校舎、コスモスの咲く花園、掃き清められた校庭・・・沖縄一の環境です。ここで生徒たちは沖縄の輝く星になるべく 1 人ひとりが切磋琢磨して学んでいます。生徒たちの瞳がキラキラしていたのが印象に残りました。

司会を担当した PTA 会長の古謝かおりさんが「今日の講話で、何で勉強するのかが分かりました。自分のためではなく、自分を愛してくれる親とか誰かを幸せにするために勉強するんだということを與那覇先生は語っていましたね」

講演会の成否は最初のつかみにあると考えていて、今日のつかみはどうしようかなと思いを巡らせた結果、講演の前日がバレンタインデーだったので、学校近くのファミリーマートでチョコレートを 30 個用意しました。

「読中生は聴く態度が最高です。3 年生は文武両道、2 年生は突出した活躍、1 年生も 3 年生同様だと聞いています。どの学年の結束力が強いのか、最も強い学年にチョコをプレゼントします。私が、『拍手を 1 年』といたら 1 年生は 3 回拍手をします。2,3 年生も同様です。一番拍手が大きい学年の優勝とします」の第一声ではじめたのですが、勝敗が微妙で決定に至らず、個人や団体に活躍した生徒を壇上に上げチョコをあげました。8 個残ったので、質問した人にあげるよといたら最後の質問コーナーが盛り上がったのです。チョコレートの力は私の話より凄かった。